

おはようございます。

さて、今日は 1 年間の締めくくりの日です。

と同時に、4 月 9 日の始業式から始まる平成 30 年度を見据えて、「何のために」「何を」「どのように」取り組んでいくのか、来年度の進むべき道筋、展望を描くべき時期でもあります。

そうした大切な時期であることを踏まえて、皆さんに伝えたいこと、理解して欲しいことを、3 つの視点からお話しします。

一つめの視点は、この一年間を振り返って今後も継続・発展させて欲しいことです。

例えば、「努力を続けてきたこと」

学習や行事、部活動、地域連携や交流活動など、皆さんの努力を続ける姿をたくさん見てきました。

「時間を守ること」もその一つです。

皆さんが先生方の指導を受けながら、時間を守るために努力した結果、今年度は、大幅に遅刻が減った昨年の遅刻数から更に 30%も減少しました。

この努力は本当に素晴らしいことです。

当然「遅刻ゼロ」が最大の目標です。今後も「遅刻ゼロの日」をめざして学校あげて努力してください。

その他にも、皆さんの思いやりや心意気にもうれしく思うことがたくさんあります。

例えば、アダプトプログラムの清掃活動もそうですし、一番最近の出来事では、一昨日 20 日の合格発表の後、皆さんの後輩になる合格者と保護者の方々を、多くのクラブ員の皆さんが 2 列になって、「こんにちは」「おめでとうございます」と元気よく挨拶をして出迎えてくれました。

こうした心温まる優しさや思いやりを、全ての皆さんが持っているとは思っています。

皆さんが本当によく頑張ったこと、達成できたことを今後も継続し、更により一層よいものにしてください。

皆さんの良い点を惜しむことなく発揮して欲しいと思います。

二つめの視点は、反省すべき点、改善すべき点です。

この点については重々胸に手を当てて振り返ってください。

それは、「授業に向き合う姿勢」、そして「学習の習慣」、特に「授業以外の家庭学習」「自習室等での学習」の習慣ができているか、という問題点です。

この点については、今後何としてでも改善したいと強い覚悟を持って臨んでいきたいと考えています。

「授業が分からないこと」「学習時間が作れないこと」を誰か人のせいにしていませんか？「やる気」とか「モチベーション」のせいにしていませんか？

もしそうなら大間違いです。

そんな暢気なことは言っていない時期にさしかかっています。

この問題については、我々も責任を感じています。

この一年間、先生方はそういった皆さんの実態や、さらに国の大きな改革を見据えて熱心に考えてきました。

そこで、三つのめの視点は、皆さんの「学びをどのように充実させるか、改善するか」という点です。

皆さんの中には、「勉強の仕方がわからない」「教えて欲しいけれど学校に残れない」など、皆さんが抱える悩みや不安もあると思います。

こうした問題点や皆さんを取り巻く状況を考えあわせ、来年度から、学校をあげて「学びの改革」を行います。

すでに担任の先生から説明があったことと思いますが、改めてそれらの主旨、目的をしっかりと理解してください。

一つは、皆さんが抱える学習上の問題、即ち「勉強の仕方を知る」、「わからないことをわかるようにする」、そして着実に「力を身につける」ことを目的に、皆さんの学習を支援する新しいツールを導入します。

そして、皆さんの学習時間、学習状況を把握しながら応援していきます。

ただし、これらはあくまでもツール、即ち道具ですから、活用しなければ全く意味がありません。

計画性を持って、「何が何でも学習時間を創りだし、力をつけるんだ」と強い決意を持って活用してください。

二つめは、「朝学」の導入です。

国の大きな改革の中で、これからの時代は、単に知識がどうなのか、どれだけ知っているかが問われてきた時代から、知識や技能をどのように生かしていけるかが問われるように変わっています。

入試も就職試験も同じです。

一般入試に限らず、AO入試も推薦入試でも、入社試験でも皆さんの知識や技能、経験を生かした思考力や判断力、そして表現力が問われます。

例えば、進路に必要な「志願理由書」の作成、現2年生は早い人で数ヶ月後にこの課題に直面します。

思考・判断したことを表現するには何が必要ですか？

私は、まずは心を落ち着けて「集中して考えられること」、「常に考え、判断する習慣が身につけていること」、そして「考えたことを適切に簡潔に言葉で表現できること」だと思います。

そうしたことから、本校の「朝学」では「文章力・集中力・見通し力」を身につけ、伸ばすことを目的に、様々なテーマについて 100 字程度の作文を書いたり、授業への切り換え、集中力を持って授業に臨む習慣、一日の予定や将来について考えたりする機会にしたいと思います。

予定では4月11日から全校一斉にスタートします。

まずは10分間をいかに有効な時間にできるか、10分間をマネジメントすることから始めてください。

「たかが10分で何ができるの？」と思う人がいるかもしれません。

「こうした小さな習慣を継続できること、『できたこと』を積み重ねていけることが成功につながる」ということが、実際の調査研究で実証され、脳科学の分野でも提唱されています。

習慣は繰り返すことによって身につきます。

そのため悪い習慣はなかなか解消できないのと同様に、この朝学を良い習慣として定着することができれば皆さんの身についた良い習慣は消えません。そして力が貯金のように蓄えられていくと思ってやり続けてください。

「モチベーション」は不要です。意志と行動があれば大丈夫です。

こうした新たな「学びの改革」に加えて、忘れてはならないのは、学校生活の殆どを占める「授業」です。

いかに「授業を大切にできるか」この点は皆さんが取り組むべき基本中の基本です。

「授業」と「朝学」、「授業」と「学習ツール」を一体のものとして大切にし、努力を続けることで、皆さんの成長と進路実現につなげてください。

皆さんの本当の力が発揮されること、決意に満ちた皆さんが目標に向かってひたむきに努力を続けていることを大いに期待しています。

そして1年後、2年後に、皆さんが希望する新たな道を、胸を張って歩きだしていけることを心から願っています。